

なぜ、貴社の模倣品対策は効果を実感できないのか

納得のいく中国模倣品対策を実現するために必要な3つのポイント

《開催要領》

●日 時● 2017年9月25日(月) 13:00~17:00
●会 場● 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

講師 弁護士法人キャスト パートナー 弁護士 島田敏史 氏



講師紹介

福岡県出身。早稲田大学法学部卒業。中央大学法科大学院卒業。中国知財・日本知財を専門分野とする日本国弁護士。中国調査会社や特許庁審判部での勤務経験を活かし、日中の知財サービスを提供。中国国内の法律法規には様々な明文化されていない部分があることを前提に、実態に即したサービスを提供、支援。

《開催にあたって》

本セミナーでは、調査会社において多数の調査・摘発案件に関与した経験、弁護士として多数の知財訴訟に関与した経験を有する講師が、単なる法律論だけでなく、現場の実務に基づく具体的な対応方策案を具体例を交えて紹介します。費用対効果のある模倣品対策を実施するためには、①正しく模倣品対策の意義を理解した上、②必要最低限のコストで最大の効果を上げる戦略、戦術を取り、かつ、③それらを誠実に実行する代理会社が必要です。また、中国における代理人は、知識、法的思考力、クライアントのニーズの把握やコミュニケーション能力等において未熟な場合も多く、権利者企業側に相当な知見がないと適切な代理人を選択できない状況となっています。本セミナーでは、費用対効果のある模倣品対策を実現するための知見の習得に加え、中国代理人を適切に選定できることも目的とします。

《申込書》一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

FAX:03-5215-0951

*申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

*申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

■受講料:1名(税込・資料代含)

正会員 34,560円(本体価格 32,000円) 一般 37,800円(本体価格 35,000円)

171489-0303(※) 納得のいく中国模倣品対策を実現するために必要な3つのポイント			
ふりがな 会社名			
住 所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属	役 職	
E-mail			

■参加要領: 当会ホームページからお申込下さい。FAX、または下記担当者宛 E-mail でもお申込頂けます。

後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。([TOP] → [公開セミナー] → [よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

納得のいく中国模倣品対策を実現するために必要な3つのポイント

9/25
(月)

13:00

【プログラム】

1. 誤ったイメージをなくすことから
 - (1) 「模倣品がなくなれば売上が上がる」は嘘である
 - (2) 「模倣品がブランドを傷つけている」は嘘である
 - (3) 「模倣品の質は劣悪」は嘘である
 - (4) 「模倣品は知財の問題である」は嘘である
 - (5) 「中国人は模倣品が好き」は嘘である
 - (6) 「中国政府が模倣品を黙認している」は嘘である
 - (7) 「摘発しても模倣品の販売は止まらない」は嘘である
 - (8) 「模倣品の製造元を止めれば模倣品はなくなる」は嘘である
 - (9) 「模倣品販売業者は巧妙化を進めている」は嘘である
 - (10) 「どこかに大規模な犯人がいる」は嘘である
 - (11) 「模倣品は永久に消失しない」は嘘である
 - (12) 「自社に限っては調査会社に騙されていない」は嘘である

2. 模倣品対策の意味は?

- (1) 模倣品が出る理由を把握する
- (2) 闇闇に対策するのはコストの無駄
- (3) 無駄な対策の例
- (4) 模倣品対策の正しい意味の見つけ方
- (5) 必要最低限のコストの考え方

3. 模倣品対策の戦略を立てる

- (1) 被害を効率的に把握する
- (2) 被害の「質」の把握と「量」の把握
- (3) エンフォースメント手段の使い分け
- (4) 真正品販売による模倣品排除
- (5) 啓蒙による模倣品排除
- (6) 広告による模倣品排除

4. 模倣品対策の個別戦術例

- (1) 効率的な模倣品被害実態調査の具体例
- (2) 警告状送付だけの解決事例
- (3) 行政摘発、刑事摘発におけるコスト削減例
- (4) 効率的な水際対策の具体例
- (5) 効率的なインターネット上の模倣品対策例
- (6) 広告、啓蒙、真正品販売による模倣品排除事例

5. 中国調査会社との付き合い方

- (1) 中国調査会社の実態
- (2) 調査員はどんな調査をやっているのか?
- (3) どこまで調査できるのか?
- (4) 適正な調査料金は?
- (5) 嘘の報告をするというのは本当か?
- (6) なぜ、調査会社は案件を偽造するのか?
- (7) 虚偽案件の見抜き方
- (8) 正しい調査会社との付き合い方
- (9) コネクションは必要か?

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。
※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。

17:00

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。